

令和2年度外務省高校講座を実施

10月12日（月）14時25分より本校生対象に外務省高校講座を実施しました。コロナ禍への対策として講演はZOOMを通して行われました。講師の外務省国際協力局事業管理室主査 角掛 万里子氏は、御自身が外交官になられるまでの経緯、各国大使館で御経験されたお仕事、外務省の業務について生徒の視点からお話くださいました。

講演では外国語学習の際の心掛けについてもご教示いただきました。外国の高官と接する際に伝えたいことを率直に話しても受け入れてもらえなかった経験から、相手にどうすれば言いたいことをうまく伝えることができるのかなど、悩みながらも伝え方を工夫されたとのことでした。人と対面する際は言葉の学習は元より、相手に対する心がもっと大切であると強調されました。また他国の人と付き合うときは自国の文化・歴史をよく知っておかなければならないこと、常に社会に関心を持っておくことが肝要と話されました。これからの社会に向かう生徒として、可能性は無限に広がっている、まずは一歩踏み出そうと、本校生の肩を優しく前に押ししていただきました。



講演後、生徒との談話会が行われました。外交官と直接対話したことで興奮が冷めやらない本校生からは多くの質問が出されました。

「ぼくは初対面の人と話すときはとても緊張します、先生は海外の高官と話されるときはどうされているのですか」、「支援国の地域を活性化するにはどのような手立てがありますか」、「持続可能な支援の形とはどのようなものですか」など、10数名の生徒から矢継ぎ早に質問が出されました。講師の先生は笑顔で一つ一つの生徒の声に丁寧にお答え下さいました。本講演で蒔かれた国際教育の種がいつか本校生の中で芽生え、グローバルな視点から地域を捉え、地域の逞しい力となってくれるように期待したいと思います。

